

# 平成24年度 主な事業の要求・査定状況

※主な事業とは、市が実施しようとする新規事業・投資的経費等を中心に抜粋したもので、市が行う全ての事業を掲載したものではありません。

## 保健福祉部

(単位:千円)

担当課	事項	要求額	要求内容	査定額	査定理由
福祉政策課	災害時要援護者名簿作成事業	6,160	災害時要援護者名簿登録者に救急医療情報キットを配布する。	5,100	B
福祉政策課	駅エレベーター整備費補助金	4,014	国の地域公共交通確保維持改善事業に基づき、鉄道事業者に対し県とともに必要な支援を行い駅のバリアフリー化を促進する。(近鉄奈良駅・尼ヶ辻駅)	4,014	A
福祉政策課	都祁福祉センター施設整備	23,600	都祁福祉センターの修繕等	0	E
障がい福祉課	福祉タクシー助成経費	28,800	重度心身障がい者・児の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、タクシー料金を助成するチケット48枚を交付する。現行1回につき1枚の利用を、平成24年度より1回につき2枚まで利用できる制度に拡充する。	17,200	C
障がい福祉課	友愛バス優遇措置事業	134,000	障害者手帳所持者に対し奈良交通バス市内路線の優待乗車証を発行し、利用してもらうことにより生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図る。	105,800	B
障がい福祉課	相談支援事業	11,800	障がい者やその保護者、介護者等の相談に応じ、情報提供や権利擁護のために必要な援助を行う委託相談支援事業所のうち、専門職を配置した相談支援機能の強化を図る事業所を1か所増やす。	11,800	A
障がい福祉課	庁舎整備事業	10,750	庁舎中央棟1階の正面玄関西側事務室にシャッターを設置する。	0	E
障がい福祉課	総合福祉センター施設整備	90,074	総合福祉センターの修繕等	2,000	D
障がい福祉課	障害者福祉施設整備費補助金	66,374	社会福祉法人等の施設整備及びケアホームの改修等に対して補助を行う。	65,791	B
障がい福祉課	市庁舎(仮称)福祉カフェ開設	6,431	障がい者の社会参加と自立支援を推進する取組みの一環として、市庁舎に「(仮称)福祉カフェ」を開設する。	4,000	B
福祉医療課	子ども医療費助成経費	326,097	子ども医療費助成のうち、6歳(小学校就学前)から15歳(中学校卒業)までの子どもに対する医療費助成	288,085	B
福祉医療課	ひとり親家庭等医療費助成経費	2,518	ひとり親家庭等医療費助成のうち、父子家庭に対する医療費助成	2,480	B
保護第一課	面接相談員設置経費	10,575	生活保護の相談に応じ、必要な助言等を行うため、面接相談員を設置する。	10,575	A
介護福祉課	小規模多機能型居宅介護施設整備費補助金	141,636	通いを中心に訪問や泊まりを組み合わせた、小規模多機能型居宅介護施設の整備を行う事業所に対し補助金を交付する。	141,636	A
介護福祉課	老人福祉施設等整備費補助事業	468,800	特別養護老人ホーム、軽費老人ホームの整備を促進するために、施設整備を行う社会福祉法人に対し補助金を交付する。	468,800	A
長寿福祉課	老春手帳バス優待乗車事業	247,692	老春手帳の優遇措置の一つとしてバスの優待乗車を実施し、高齢者の外出支援、福祉の増進を図る。	245,000	B
長寿福祉課	高齢者福祉施設整備事業	11,017	老人憩の家および福祉センターの改修工事、耐震診断を行う。	4,000	D

査定理由 A: 要求どおり全額を認めているもの

B: 単価・数量・金額を精査し、所要額を予算措置したもの

C: 実施方法の変更や内容の見直しを行い、所要額を予算措置したもの

D: 優先順位をつけ、一部もしくは全部を次年度以降に先送りしたもの

E: 実施時期・事業効果の検討等、内容調整が必要と判断したもの

F: 国の補正予算を活用して、一部もしくは全部を平成23年度に前倒ししたもの